大学名	（1）制度名	（2）申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては「（4）対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	（3）支援の種類	「その他」の具体的内容	（4）対象学年・学部・資格・条件	（5）種類	（6）金額	（7）支給期間	（8）人数	（9）地域条件	（10）担当部署	（11）JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	（12）他奨学金制度との併用可否
柴田学園大学	柴田学園みらい創生奨学生制度	入学手続時		寮制度 入学金・授業料減免 用途を定めない経済的支援		(1)日本国籍を有する者、または永住者、定住者、日本人または永住者の配属者・子。 (2)高等学校を令和5年3月卒業見込みの者、もしくは初めて高等学校等を卒業後2年の間に入学が認められ進学する予定の者。 (3)高等学校等における評定平均値が3.5以上であること、また学修意欲のある者。 (4)申請時における生計維持者（原則父母）の最新の所得内容が要件に当てはまる者。（主たる生計維持者が父母以外の場合は、父母に代わり生計を支えている者） ※複数種類の所得（給与所得とその他の所得）がある場合は、合算した金額が世帯収入額となる。	給付奨学金 免除・減免	（減免）入学金・授業料の3分の1～3分の3 （給付）月額8,000円～25,000円 （寮費減免）月額10,000円	半期（更新有） ※継続審査があります	基準該当者すべて	地域の制限なし	学生課・事務局	併用不可	併用可
	柴田学園奨学金	在学中	原則として1年生	学費支援		対象：新入生 (1)人物、学業ともに優秀かつ健康で、学資の支弁が困難と認められる者。 (2)学園の定める基準に合格した者。	貸与奨学金	(1)授業料に相当する額　年額70万円 (2)授業料と教育充実費に相当する合計額　年額100万円 (3)(2)の1/2の額　年額50万円	4年間	若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可
	入学時特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		健康栄養学科 対象：大学入学共通テスト利用選抜（前期）合格者 選抜基準：大学入学共通テスト利用選抜（前期）の得点率が70％以上の者から選抜 こども発達学科／フードマネジメント学科 対象：一般選抜（前期）合格者 選抜基準：一般選抜（前期）の得点率が80％以上の者から選抜	免除・減免	初年度（1年間）の授業料の半額を免除	初年度（1年間）	若干名	地域の制限なし	学務課・事務局	併用可	併用可
	柴田学園大学スポーツ特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学科：こども発達学科、フードマネジメント学科 次の①～⑤の条件をすべて満たす者。 ①高等学校を2023年3月に卒業見込みの者、および2022年に卒業した者。 ②出身高等学校長および所属部活動顧問の推薦を受けられる者。 ③本学への入学を希望し、入学後は本学の指定する部活動に所属し、学業と部活動を両立させて、4年間部活動を継続する強い意志のある者。 ④高等学校での競技成績が、都道府県大会においてベスト8以上の成績を収めた者。または、それと同等の実力があることを本学の部活動顧問が認めた者。 ⑤本学の対象部活動顧問が認めた者。	免除・減免	2分の1～全額の入学金、授業料及び教育充実費を減免	4年間	10名以内	地域の制限なし	事務局	併用不可	併用可
八戸学院大学	修学奨励生制度	その他	入学手続時および在学中（1年生～4年生）	学費支援		全学年・全学科対象 健康にして学業成績および人物ともに良好、かつ経済的事情により学業の継続が困難と認められる者のうち、主たる家計支持者の収入が以下の要件を満たす者 【給与所得者】841万円以下 【給与所得者以外】355万円以下 ※予算の都合により、上記要件を満たしていても免除対象外となる場合があります。	免除・減免	全学年・全学科対象 経済的理由による学業の継続が困難であると認められる学生に対して、学納金の全部または一部を免除します。※予算の都合により、上記要件を満たしていても免除対象外となる場合があります。		所得金額や人数によって対象人数が変動します。	地域の制限なし	学務部学務課	条件有りで併用可	条件有りで併用可
八戸工業大学	特待生制度（①学業特待生・②課外活動特待生・③資格特待生）	その他	①学業特待生　：学内推薦のため申込不可 ②課外活動特待生：学内推薦のため申込不可 ③資格特待生　：入試出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 その他		特待生制度について、全学部対象。原則入学年度から4年間とし、各学年終了時に資格継続審査を行う。 ①学業特待生　：学業成績等が優秀であると認める者。 ②課外活動特待生：学生団体活動等に参加する者のうち、優れた成果を収めたと認める者。 ③資格特待生　：本学が指定する資格を取得した者。	給付奨学金 免除・減免	授業料等の全額～8分の1相当額の給付または入学金全額～一部相当額の給付。 ①学業特待生　：入学金を除く学費を給付区分により給付。 ②課外活動特待生：入学金を除く学費を給付区分により給付。 ③資格特待生　：取得資格と対応する給付区分により、入学金全額～一部を給付。	①学業特待生　：入学年度から4年間。 ②課外活動特待生：入学年度から4年間。 ③資格特待生　：入学初年度。	①学業特待生　：若干名。 ②課外活動特待生：若干名。 ③資格特待生　：人数制限なし。	地域の制限なし	入試部	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	八戸工業大学奨学生制度（①学業成績奨学生・②課外活動奨学生・③経済支援奨学生）	入学後		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		①学業成績奨学生：学業成績等が特に優秀であると認められる者。2～4学年の各学科・コース2名程度。 ②課外活動奨学生：学生団体活動に参加し、優れた成果を収めたと認める者。2～4学年の若干名。 ③経済支援奨学生：経済的な支援が特に必要と認める者。	給付奨学金	①学業成績奨学生：給付区分に応じ、授業料等全額～8分の1相当額給付。 ②課外活動奨学生：給付区分に応じ、授業料等全額～8分の1相当額給付。 ③経済支援奨学生：給付区分に応じた授業料等全額～8分の1相当額の他、入学金全額または一部相当額を給付できる。	①学業成績奨学生：各年度限り。 ②課外活動奨学生：。 ③経済支援奨学生：。		地域の制限なし	学務部学生支援担当	条件有りで併用可	条件有りで併用可
弘前学院大学	弘前学院大学特待生制度	その他	申請はなし。1年生は、1年次前期の学業成績等をもとに決定。2年生以上は、前年度の学業成績等をもとに5月頃決定。	特待生・成績優秀者		*対象学年・学部　各学部・各学年1名 *資格　1.本学学生で人物及び学業成績が特に優良であること 　2. 学業に従事できる健康を有していること *選考　1. 1年生は、1年次前期の学業成績等をもとに決定 　2. 2年生以上は、前年度の学業成績等をもとに5月頃決定 *本学学内奨学金との併用は不可	免除・減免	当該年度の授業料を免除	1年	全12名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	弘前学院大学学内奨学金（免除）	その他	12月～2月	入学金・授業料減免		*学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学困難と認められる本学在学2年目以上の者 *適用期間は1年間 *採用予定人数→文学部8名、社会福祉学部4名、看護学部6名（年度により採用人数は変更することがある） *本学学内奨学金との併用は不可	免除・減免	年間授業料の2分の1相当額	1年	18名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	弘前学院学内奨学金（貸与）	その他	4月	学費支援		*対象学年　各学部、各学年5名 *資格　経済的理由により修学困難と認められる者の、人物・成績・出願理由を総合審査の上、決定する。毎年選考を更新する。	貸与奨学金	月額32,000円（無利子）	1年	60名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可
弘前医療福祉大学	特待生奨学金制度2019	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象学年・全学年（入学より4年間） 学部・全学部 資格・一般入学試験受験者で奨学金を希望する者のうち上位者 （特待生A） ① 看護学科1名・医療技術学科作業療法学専攻1名・医療技術学科言語聴覚学専攻1名 ② 特待生奨学金制度2019を希望する者で、一般選抜（前期日程）の学力検査の成績（総合点）が160点以上の者について、学科・専攻毎に成績最上位の者（合計3名）に給付 （特待生B） ① 合計7名（学科・専攻別の枠は設けない） ② 特待生奨学金制度2019を希望する者で、一般選抜（前期日程）の学力検査の成績（総合点）が150点以上の者について、特待生（年額117万円給付）の3名を除いた成績順に上位から合計6名に給付 ③ 特待生奨学金制度2019を希望する者で、一般選抜（後期日程）の学力検査の成績（総合点）が150点以上の者について、成績最上位の者（1名）に給付 ※入学後、成績不良の場合には奨学金を取り消す場合があります。	給付奨学金	（特待生A）年額117万円 （特待生B）年額58万5千円	4年間 ※入学後、成績不良の場合には奨学金を取り消す場合があります。	（特待生A）3名 （特待生B）7名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	親族入学優遇制度	学校出願時		入学金・授業料減免		入学時 学部・全学部 資格・特になし 条件・四親等以内の親族の中に、学校法人弘前城東学園が運営する各学校の在学生または卒業生がいること	免除・減免	入学金の半額			地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	在学特待生授業料減免制度	在学中	年度末	特待生・成績優秀者		対象学年・1～3年次 学部・全学部 資格・学業成績が最も優秀な者（看護学科1名、作業療法学専攻1名、言語聴覚学専攻1名） 条件・「特待生奨学金制度2019」の採用者ではないこと	免除・減免	翌年の授業料及び教育充実費の半額免除	1年間	9名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
	入学金免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学年・入学時 学部・全学部 資格・特になし 条件・入学希望者本人が学校法人弘前城東学園が運営する各学校に在籍する者または卒業した者であること	免除・減免	入学金の全額			地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	ホスピタリティー奨学金	在学中	毎年6月頃募集	その他	経済援助奨学金	対象学年・全学年 学部・全学部 資格・特になし 条件・経済的理由により修学が困難な者を支援するために経済援助奨学金を給付することを目的とし、毎年度、全学年40人を限度とし、当該年度の後期教育充実費として給付します。 給付期間は1年間とし、1年ごとに改めて応募しなければなりません。	免除・減免	年額15万円	1年間	40名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
富士大学	富士大学特待生	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		前年度学業成績優秀者。2年生以上の学生を対象に、学年、学科をを問わず、前年度の「通期GPA」の高い順に決定する。	給付奨学金 貸与奨学金 免除・減免	前年度の学業成績を元に、授業料の全額、半額、三分の一	1年更新	若干名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用不可
	学生応援奨学生	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援 課外活動支援制度		課外活動等で活躍し、経済的支援を要する者。成績が優秀で人物的にもすぐれ、経済的支援を要するもの。	給付奨学金	年額100，000円	毎年実施	12名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
	学力優秀者特待生	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		学力優秀者特待生試験に合格し入学した者。原則4年間授業料の免除。入学試験の成績により、「授業料全額」「授業料2/3額」「授業料1/2額」「授業料1/3額」のいずれかとする。	免除・減免	授業料減免	1年更新	若干名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用不可
	スポーツ特待生	学校出願時		入学金・授業料減免		指定の入学試験に合格し入学した者。指定するスポーツの各種目において高度な能力を持ち、優秀な成績を収めた者。学業成績についても、一定水準以上であることを条件とする。	免除・減免	学費の全部または一部	1年更新	若干名	地域の制限なし	入試部	併用可	併用不可
	要経済支援スポーツ特待生	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料減免		スポーツ特待生のうち、経済支援なしには、大学に進学出来ない者または、大学で学業を続けられない者。	免除・減免	学費の全部または一部	1年更新	若干名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用不可
	青木特別奨学生	随時		学費支援		学費の納入が著しく困難となった3年生以上。	貸与奨学金	授業料並びに施設設備費の年額の合計額の累積2年分までを上限とする	随時	若干名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
	青木アスリート奨学生	入学後		課外活動支援制度		全国大会優勝者、国際大会活躍者	給付奨学金	500，000円	随時	若干名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用不可
	職業会計人・商業科教員養成特待生	学校出願時		入学金・授業料減免		簿記検定等の資格を有し経済的支援を必要とする者で、指定の入学試験に合格した者	給付奨学金	授業料減免	随時	若干名	地域の制限なし	入試部	併用可	併用不可
	留学生の学費等減免	学校出願時		寮制度 入学金・授業料減免		経済支援を必要とする留学生で、指定の入学試験に合格した者	免除・減免	入学金、授業料、施設設備費、寮費減免	1年更新	若干名	地域の制限なし	入試部	併用可	併用不可
	資格取得者特待生	学校出願時		資格取得支援制度		指定の入学試験を合格したもの。	免除・減免	入学金、授業料一部免除	1年更新	若干名	地域の制限なし	入試部	併用可	併用不可
盛岡大学	盛岡大学資格入試特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 寮制度 入学金・授業料減免		英語文化学科：学校推薦型選抜の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、次のいずれかの条件を満たす者①全体の学習成績の状況4.7以上②英検2級以上、TOEIC L&R/TOEIC S&W 1,150点以上、GTEC 930点以上（オフィシャルスコアに限る）※英語文化学科を第一志望とする者 児童教育学科：学校推薦型選抜の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、次のいずれかの条件を満たす者①全体の学習成績の状況4.7以上②英検2級以上、TOEIC L&R/TOEIC S&W 1,150点以上、GTEC 930点以上（オフィシャルスコアに限る）※児童教育学科を第一志望とする者	免除・減免	英語文化学科：学則に定める年間授業料の半額相当額（350,000円）を減免。 児童教育学科：①学則に定める入学金相当額（260,000円）の減免。②盛岡大学学生会館規程に定める入館金及び年間個室等会館使用料の半額（計300,000円）の減免。	英語文化学科：初年度のみ 児童教育学科：①初年度のみ②原則4年間継続。2年目以降は年間個室等会館使用料の半額（240,000円）の減免。	英語文化学科：採用基準を満たした者全て 児童教育学科：採用基準を満たした者全て	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可
	盛岡大学経済支援入試特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		英語文化学科：一般選抜前期の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、次の2点を満たす者①盛岡大学経済支援入試特待生規程に定める家計基準（主たる家計支持者の収入金額が給与所得者では841万円以下、給与所得者以外では355万円以下とする。）を満たす者②一般選抜前期入試科目『英語』の得点の上位の者※英語文化学科を第一志望とする者※採用の際は必ず入学すること 日本文学科：一般選抜前期の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、次の2点を満たす者①盛岡大学経済支援入試特待生規程に定める家計基準（主たる家計支持者の収入金額が給与所得者では、841万円以下、給与所得者以外では355万円以下とする。）を満たす者②一般選抜前期の入試成績順位上位の者※日本文学科を第一志望とする者。※学業入試特待生との併願可（日本文学科の学業入試特待生及び経済支援入試特待生は併願が可能で、採用基準を満たせば両方の入試特待生に採用される。※採用の際は必ず入学すること。社会文化学科：一般選抜前期の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、次の2点を満たす者①盛岡大学経済支援入試特待生規程に定める家計基準（主たる家計支持者の収入金額が給与所得者では841万円以下、給与所得者以外では355万円以下とする。）を満たす者②一般選抜前期の入試成績順位上位の者※社会文化学科を第一志望とする者※学業入試特待生との併願可（社会文化学科の学業入試特待生及び経済支援入試特待生は併願が可能で、採用基準を満たせば両方の入試特待生に採用される。※採用の際は必ず入学すること。 児童教育学科：一般選抜前期、共通テスト利用選抜前期の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、次の2点を満たす者①盛岡大学経済支援入試特待生規定に定める家計基準（主たる家計支持者の収入金額が給与所得者では841万円以下、給与所得者以外では355万円以下とする。）を満たす者②一般選抜前期、共通テスト利用選抜前期の入試成績順位上位の者※児童教育学科を第一志望とする者※※複数の入試種別に併願が可能であるが、採用はいずれかの入試種別での採用となる。※採用の際は必ず入学すること。 栄養科学科：一般選抜前期、共通テスト利用選抜前期の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、次の2点を満たす者①盛岡大学経済支援入試特待生規程に定める家計基準（主たる家計支持者の収入金額が給与所得者では841万円以下、給与所得者以外では355万円以下とする。）を満たす者②一般選抜前期、共通テスト利用選抜前期の入試成績順位上位の者※複数の入試種別に併願が可能であるが、採用はいずれかの入試種別での採用となる。※採用の際は必ず入学すること。	免除・減免	英語文化学科：学則に定める入学金相当額及び年間授業料の半額相当額（計610,000円）を減免。2年目以降は年間授業料の半額相当額（350,000円）の減免。 日本文学科：学則に定める入学金相当額（260,000円）の減免。 社会文化学科：学則に定める入学金相当額（260,000円）の減免。 児童教育学科：学則に定める入学金相当額及び年間授業料の半額相当額（610,000円）を減免。2年目以降は年間授業料の半額相当額（350,000円）の減免。 栄養科学科：学則に定める年間の授業料相当額（700,000円）の減免。	英語文化学科：原則4年間継続（進級時に次の2点の条件を満たせない場合は、その資格を失う。①規程に定める家計基準。②前年度のGPA2.5以上であること。） 日本文学科：初年度のみ 社会文化学科：初年度のみ 児童教育学科：原則4年間継続（進級時に規定に定める家計基準の条件を満たし且つ次のいずれかの条件を満たせない場合は、給付を一時中断する。①取得単位/年間31単位以上。②成績状況/前年度のGPA3.3以上または成績上位15％以内。） 栄養科学科：原則4年間継続（進級時に規程に定める家計基準の条件を満たしかつ次の条件を満たせない場合は、給付を一時中断する。前年度のGPA順位上位25％以内。）	英語文化学科：1名 日本文学科：1名 社会文化学科：1名 児童教育学科：5名（一般選抜前期：児童教育コース2名、保育幼児教育コース1名共通テスト利用選抜前期：児童教育コース1名、保育幼児教育コース1名） 栄養科学科：4名（一般選抜前期2名、共通テスト利用選抜前期2名）	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可
	盛岡大学学業等入試特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 寮制度 入学金・授業料減免		英語文化学科：指定校推薦入学試験の合格者 日本文学科：一般選抜前期の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、入試成績順位上位の者※日本文学科を第一志望とする者※経済支援入試特待生との併願可能（日本文学科の学業入試特待生及び経済支援入試特待生は併願が可能で、採用基準を満たせば両方の入試特待生に採用される。）※採用の際は必ず入学すること。 社会文化学科：一般選抜前期の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、入試成績順位上位の者※社会文化学科を第一志望とする者※経済支援入試特待生との併願可能（社会文化学科の学業入試特待生及び経済支援入試特待生は併願が可能で、採用基準を満たせば両方の入試特待生に採用される。）※採用の際は必ず入学すること。 児童教育学科：【指定校推薦入試特待生】指定校推薦入学試験の合格者：【学業入試特待生】学校推薦型選抜の入試出願時に入試特待生を希望し、合格した者のうち、学校推薦型選抜の入試成績順位上位の者※児童教育学科を第一志望とする者	免除・減免	英語文化学科：学則に定める年間授業料の半額相当額（350,000円）の減免。 日本文学科：学則に定める年間の授業料相当額（700,000円）の減免。 社会文化学科：学則に定める年間の授業料相当額（700,000円）の減免。 児童教育学科：【指定校推薦入試特待生】学則に定める入学金相当額（260,000円）の減免：【学業入試特待生】①学則に定める入学金相当額（260,000円）の減免。②盛岡大学学生会館規程に定める入館金及び年間個室等会館使用料の半額（計300,000円）を減免。2年目以降は年間個室等会館使用料の半額（240,000円）の減免。	英語文化学科：初年度のみ 日本文学科：原則4年間継続（進級時に次の条件を満たせない場合は、その給付を一時中断する。前年度の成績が順位10位以内かつGPA3.2以上。） 社会文化学科：原則4年間継続（進級時に次の条件を満たせない場合は、その給付を一時中断する。前年度のGPA順位5位以内、又は年間GPA平均3.5以上。） 児童教育学科：【指定校推薦入試特待生】初年度のみ：【学業入試特待生】①初年度のみ②原則4年間継続（進級時に次の条件を満たせない場合は、その資格を失う。前年度の修得単位数が31以上であること。）	英語文化学科：8名 日本文学科：2名 社会文化学科：2名 児童教育学科：9名（【指定校推薦入試特待生】児童教育コース4名、保育・幼児教育コース1名【学業入試特待生】児童教育コース3名、保育・幼児教育コース1名）	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用不可
	盛岡大学特別奨学生	入学後		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		①学力で成績(前年度)優秀な2年生以上の学生を対象に選考します。 ②スポーツ、芸術、社会活動などで成績(前年度)優秀な2年生以上の学生を対象に選考します。	給付奨学金	①、②200,000円	①、②1年に1回	①18名 ②若干名	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	条件有りで併用可
	盛岡大学奨学会	随時		学費支援 留学費用支援制度		①一般貸与奨学金<無利子> 家庭の経済事情により学費納入が困難であり、学業成績・人物ともに良好な学生に選考のうえ貸与します。 ◎募集／ 随時 ◎貸与回数／4年間で2回まで。ただし、在学中に貸与を受けた奨学金を、学納金年額相当額若しくは学納金年額の2分の1相当額を返還した場合、返還額に応じて新たな申請が可能。 ②一時貸与奨学金<無利子> 仕送りの遅延、傷病等の緊急時に、一時的に生活費を貸与します。 ◎募集／ 随時 ③給付奨学金 本学交換派遣留学生に給付します。	給付奨学金 貸与奨学金	①原則年額学納金の1／2相当額 ②1口5,000円　10口限度 ③原則500,000円	①1回 ②1回 ③1回	①年間20名程度 ②若干名 ③若干名	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可
岩手保健医療大学	特待生制度	その他	①②入学手続時 ③在学中	特待生・成績優秀者 その他	施設設備費・実験実習費減免	①入学時特待生A：一般選抜入試（A日程）合格者の中で、試験に合格し、入学した者うち成績上位者 ②入学時特待生B：一般選抜入試（A日程）合格者の中で、特待生Aを除く成績上位者 ③在学中特待生：2～4年生の中で、学年ごとに前年度の学業成績の上位者（2023年度入学生から適用）	免除・減免	①45万円 ②22.5万円 ③45万円	①②③1年間	①3名以内 ②7名以内 ③2名以内	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可

大学名	（1）制度名	（2）申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては「（4）対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	（3）支援の種類	「その他」の具体的内容	（4）対象学年・学部・資格・条件	（5）種類	（6）金額	（7）支給期間	（8）人数	（9）地域条件	（10）担当部署	（11）JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	（12）他奨学金制度との併用可否
石巻専修大学	石巻専修大学進学サポート奨学生制度	学校出願時		入学金・授業料減免		申請資格 本学での勉額学意欲があるにもかかわらず、経済的な理由により進学が困難であるものであって、入学者選抜前に本学が進学サポート奨学生の採用候補者として決定し、入学を許可したもの 以下の条件に全て該当すること ①日本国籍を有する者、または永住者、定住者、日本人または永住者の配偶者・子。 ②高等学校（中等教育学校の後期課程、在外教育施設を含む）の出身者。 ③申請時における最新の父母の年間所得合計金額が給与・年金所得の場合は510万円未満、給与所得以外（自営業・農業等所得）の場合は350万円未満の者	免除・減免	授業料の40%相当額	4年間 （※1継続審査有り）	200名 （※理工学部77名程度、経営学部87名程度、人間学部36名程度）	地域の制限なし	事務部　事務課　入試担当	併用不可	条件有りで併用可
	特待生選抜奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		本学での勉学を強く希望し、向学心が旺盛で学生の模範となり、将来は社会のさまざまな方面での活躍が期待され、特待生選抜試験制度により入学を認められたもの。	免除・減免	授業料相当額および施設費相当額	4年間	10名程度 （※理工学部4名程度、経営学部4名程度、人間学部2名程度）	地域の制限なし		併用可	併用可
	新入生付属高校奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援		専修大学の付属高校からの推薦入学者であって、学業成績および人物共に優れ、かつ、勉学意欲があるもの	給付奨学金	理工学部生20万円・経営学部生15万円・人間学部生15万円	2年間	若干名	地域の制限なし		併用可	併用可
	新入生石巻地域奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援		石巻地域内高校からの特別選抜による入学者であって、人物に優れ出身高校の学業成績が特に優秀であるとともに、経済的事情から奨学金を受けて修学を望むもの	給付奨学金	23万円	1年間	12名 （※当該人数を最大枠とし、各学部の入学者数に応じてこれを割り当てる。）	地域の制限なし		併用可	併用可
	新入生ファミリー支援奨学生	学校出願時		学費支援 用途を定めない経済的支援		兄弟姉妹が本学に在籍している入学者であって、人物に優れ勉学意欲があるとともに、経済的事情から奨学金を受けて修学を望むもの	給付奨学金	23万円	1年間	若干名	地域の制限なし		併用可	併用可
	在学生キャリア支援奨学生	在学中	当該年度	学費支援 課外活動支援制度 資格取得支援制度		在学生であって、人物に優れ高度資格取得、スポーツ、文化・社会活動等の分野で優れた成果を達成したもの	給付奨学金	［限度額］20万円	当該年度	必要に応じて採用	地域の制限なし		併用可	併用可
	在学生特別奨学生	在学中	当該年度	特待生・成績優秀者 学費支援		2年次、3年次および4年次在学生であって、人物に優れ勉学に意欲的に取り組み、前年度の学業成績が特に優秀なもの	給付奨学金	理工学部生20万円・経営学部生15万円・人間学部生15万円	当該年度	48名 （※各学年の最大枠は、その在学者の3.7%以内とし、各学部の在籍者数に応じてこれを割り当てる。この場合において、当該最大枠は、16名を超えることができないものとする。）	地域の制限なし		併用可	併用可
	経済支援奨学生	在学中	当該年度	学費支援 用途を定めない経済的支援		在学生であって、勉学意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学の継続が困難なもの	給付奨学金	［限度額］10万円	当該年度	必要に応じて採用	地域の制限なし		併用可	併用可
	家計急変奨学生	在学中	当該年度	学費支援 用途を定めない経済的支援		在学生であって、勉学意欲があるにもかかわらず、主たる家計支持者の死亡、失職等による経済的理由により、修学の継続が著しく困難なもの	給付奨学金	［限度額］理工学部生45万円・経営学部生30万円・人間学部生35万円	当該年度	必要に応じて採用	地域の制限なし		併用可	併用可
	災害見舞奨学生	在学中	当該年度	学費支援 用途を定めない経済的支援		在学生であって、火災、風水害、地震等により被災し、経済的困窮度の高いもの	給付奨学金	［限度額］20万円	当該年度	必要に応じて採用	地域の制限なし		併用可	併用可
仙台大学	スポーツ奨学生	学校出願時		課外活動支援制度 入学金・授業料減免		【形態】免除 【金額】学費の全額または一部 【期間】1年次生：3年間／2年次生以上：1年間 【応募資格】本学が指定するサークルに所属し、競技成績が優秀で学業成績・人物ともに優れ、今後その活躍が期待できると認められた者	免除・減免	【金額】学費の全額または一部	【期間】1年次生：3年間／2年次生以上：1年間		地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可
東北学院大学	特待生・優等生制度	その他	学内推薦のため学生からの申請不可	特待生・成績優秀者		建学の精神を理解し学業成績が特に優秀な2～4年生の学生対象。 ①特待生は、前年度の学業成績によって選考し、全学部から合計27名。 ②優等生は、前年度の学業成績によって選考し、表彰年度の前年度末の各学科在学者数の3%までが対象。	給付奨学金	①特待生奨学金として年額30万円を給付 ②優等生奨学金として年額10万円を給付	1年間	①全学部から合計27名。 ②表彰年度の前年度末の各学科在学者数の3%までが対象。	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	東北学院大学給付奨学金	在学中	前期、後期。全学年。	学費支援		全学年の学部学生および大学院学生で学業成績・人物ともに優良であり、経済的困窮度が高く、就学困難な学生。ただし、高等教育の修学支援新制度の対象者は併給不可。	給付奨学金	半期15万円	半期。前期と後期併せて給付可能	年間400名（前期200名、後期200名）	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	条件有りで併用可
	東北学院大学緊急給付奨学金	随時		学費支援		全学年の学部学生および大学院学生で家計支持者の死亡・疾病・失業（定年退職を除く）等により、家計状況が急変して修学困難な学生。 家計が急変した事由が発生したときから1年以内に申し込み可能。在学中1回のみ申請可。	給付奨学金	当該学期に納付すべき授業料相当額	1年間。在学中1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	東北学院大学キリスト教伝道者養成奨学金	在学中	毎年4月頃に募集。1年生～4年生	学費支援		総合人文学科の全学年が対象で、キリスト教伝道者として献身する意思が強固であり、学費の支弁が困難と認められる学生	貸与奨学金	授業料の全額または一部	1年間。ただし更新を妨げない	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	東北学院大学予約型入学時給付奨学金	その他	入試の出願前に予備申請（学校推薦型選抜・総合型選抜は10月、一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜等は12月）	学費支援		1年生全学部対象 勉学意欲・人物ともに優良でありながら経済的困難状態にあるため修学が困難な方	給付奨学金	入学年度に当該学生が納入すべき入学手続時の学生納付金額	入学時から入学年度の前期まで	60名以内	地域の制限なし	学生部学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可
東北工業大学	東北工業大学奨学生	その他	学内推薦のため、学生からの申請はできない	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		本学に在学する2年生以上を対象としており、学業成績または課外活動において優秀な成績を収めた学生に奨学金が支給されます。	給付奨学金	○学業奨励奨学金 ・学業最優秀奨学生　－　当該年度の授業料相当額 ・学業優秀奨学生　－　授業料の1／2相当額 ・学業一般奨学生　－　年額12万円 ○課外活動奨励奨学金 ・課外活動優秀奨学生　－　当該年度の授業料1／3相当額 ・課外活動一般奨学生　－　年額12万円	当該年度	奨学生数は年度により変動します。 （令和4年度実績：203名）	地域の制限なし	教務学生課	併用可	条件有りで併用可
	東北工業大学就学支援給付奨学金	在学中	3・4年次	学費支援		① 学部 3、4 年生（標準修業年限で卒業見込みの者） ② 高等教育の新修学支援制度（給付奨学金・授業料等減免）の採用者以外の者 ③ 経済的理由により修学困難な状況にある者（家計急変者も含む） ④ 前期の学費（授業料）を期日までに納めている者 ⑤ 世帯の総所得を証明できる者 ⑥ 家族構成を証明できる者 ⑦ 学外の併用給付不可奨学金を受給していない者 ⑧ 本学学業最優秀奨学生以外の者	給付奨学金	学費年額1／3相当額	当該年度	15名以内	地域の制限なし	教務学生課	併用不可	条件有りで併用可
	東北工業大学後援会奨学生	在学中	4年生	学費支援		4年生前期までの学費が納入済みで、卒業に要する修得単位数の取得が見込まれ、かつ就職先が内定している学生に対し、4年生後期の学費相当額を無利子で貸与するものです。	貸与奨学金	4年生後期の学費相当額	半期（後期）	8名以内	地域の制限なし	教務学生課	併用可	併用可
	東北工業大学同窓会奨学生	在学中	4年生	学費支援		4年生前期までの学費が納入済みで、卒業に要する修得単位数の取得が見込まれ、かつ就職先が内定している学生に対し、4年生後期の学費相当額を無利子で貸与するものです。	貸与奨学金	4年生後期の学費相当額	半期（後期）	4名以内	地域の制限なし	教務学生課	併用可	併用可
	郵政福祉教育振興基金奨学生	その他	学内推薦のため、学生からの申請はできない	特待生・成績優秀者 学費支援		3年生以上の学生で、毎年8学科中2学科を指定し、前年度成績優秀者各1名を学科が推薦。	給付奨学金	当該年度の授業料の半額程度	当該年度	2名	地域の制限なし	教務学生課	併用可	条件有りで併用可
	特待生制度	その他	学内推薦のため、学生からの申請はできない	特待生・成績優秀者		特待生に認定されれば、学部4年間の学費を全額または半額免除します。 《資格》 ・大学入学共通テスト利用選抜の合格者 ・一般選抜（A日程及びB日程）の合格者（ただし、3教科3科目以上受験した者） ・指定校推薦型選抜の合格者（ただし、大学入学共通テストを受験した者）	免除・減免	学費（授業料及び設備負担金）の全額または半額	学部4年間	人数は年度によって変動します。 （令和4年度実績：認定者63名）	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	入学金優遇制度	入学手続時		入学金・授業料減免		入学予定者の兄弟姉妹が東北工業大学学部課程に在籍、または同時に入学をする場合に、入学手続き時に納入した学費のうち入学金を対象として助成（給付）する優遇制度です。 ※同時入学者については内1名が対象となります。	免除・減免	入学金を対象として助成	当該年度	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
東北生活文化大学	三島学園香風会奨学制度新入生学業奨励金	その他	新入生応募期間：10月1日～10月15日	特待生・成績優秀者		修学意欲が高く入学後の学業成績の優秀な1年生	給付奨学金	120,000円	1年	5人	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	三島学園香風会奨学制度在学生学業奨励金	その他	2～4年次応募期間：4月15日～4月30日	特待生・成績優秀者		学業に精励し態度と志向性が学生にふさわしい在学生	給付奨学金	年間120,000円	1年	5人	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	兄弟姉妹給付奨学金	入学後		学費支援		大学及び短期大学部に，一世帯から二人以上の学生が在学している場合，二人目以上の学生につき，年長，学年次順に当該学生に対し，年額12万円の奨学金を給付します。	給付奨学金	120,000円	該当する期間	①人数制限なし	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
東北福祉大学	東北福祉大学奨学金	在学中	1年次～4年次 ※給付・貸与どちらも申請期限が4月下旬	学費支援 用途を定めない経済的支援		【資格】 給付：人物・学業ともに特に優秀で、家計が著しく困窮あるいは家計に急変があり、修学の継続が困難になった者 貸与：人物・学業ともに特に優秀で、家計支持者の1年間の収入の年額が、給与所得者については700万円以内、給与所得者以外は600万円以内であること。 災害・家計急変等緊急時援助　日本学生支援機構緊急採用・応急採用に応募し 不採用になった者で、学長が災害緊急時援助の対象とすることが必要であると認めた者。 【条件】 全学生（給付は学部学生に限る。） 新規の場合、入学後および在学中に出願し、所定の手続きを行い採用される。 当該年度奨学生が継続希望する場合、所定の継続手続きを行い採用される。 主たる家計支持者の失職、死亡または災害等による家計急変者。	給付奨学金 貸与奨学金	【給付】 50，000円（毎月支給） 【貸与】 50，000円（毎月支給） 【災害・家計急変等緊急時援助】 50，000円（毎月支給） 80，000円（毎月支給）	申請後、一年間。 毎年継続申請を行う必要がある。	【給付】20名 【貸与】130名 ※定員数	地域の制限なし	学生支援センター　学生支援課	併用不可	併用不可
	東北福祉大学学内懸賞論文奨学金	在学中	優秀作品に選ばれた場合。	学費支援 用途を定めない経済的支援		日頃の研鑽の成果を発表する機会として、6,000字程度の学内懸賞論文を募集し、優秀作品に選ばれた学生に対し奨学金を交付する。	給付奨学金	【最優秀賞】10万円 【優　秀　賞】5万円 【佳　　作】3千円（図書カード）		最優秀賞：2名まで 優　秀　賞：2名まで 佳　　作：若干名（6名程度）	地域の制限なし	学生支援センター　学生支援課	併用可	併用可
	スカラシップ（成績上位者）	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援		一般選抜A日程スカラシップ入試で合格した学科に入学した者	給付奨学金	年間授業料の半額を給付	4年間だが、継続条件あり。	定員30名	地域の制限なし	学生支援センター　学生支援課	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	東北福祉大学私費外国人留学生学費等減免制度	入学後		入学金・授業料減免		減免の対象者は、本学の学部もしくは大学院の正規課程に入学し又は在籍する留学生で経済的理由により学業の継続が困難な状況にある者とする。ただし、次に該当する者は除く。 （1）成業の見込みがないと認められる者 （2）留年した者。ただし、病気その他やむを得ない事由により留年した者は除く。	免除・減免	減免の額は、原則として、学部又は大学院の学費の5割以内とする。	減免の期間は1年とし、通算した期間が学部においては4年、大学院においては修士課程2年、博士課程3年をこえないものとする。	減免対象者の数と減免額は、申請者数や事業執行年度の予算との相関、内外諸状況を勘案し、その都度決定するものとする。	地域の制限なし	学生支援センター　国際交流支援室	併用可	併用可
	東北福祉大学私費外国人留学生奨学金制度	入学後		学費支援		奨学生の資格者は、本学に在籍する通学の学部及び大学院の私費外国人留学生であって、原則として、次に掲げるすべての条件を備え、かつ日本学生支援機構・地方公共団体その他の奨学金の給付を受けていない者とする。ただし、月額25,000円以下の奨学金を受給している場合はその限りではない。 （1）学費の支弁が困難であること。 （2）学業成績及び人物が優れていること。 （3）健康であること。	給付奨学金	月額20,000円	奨学金の給付期間は、当該年度1か年限りとする。	定員4名以内	地域の制限なし	学生支援センター　国際交流支援室	併用不可	条件有りで併用可
	東北福祉大学学費減免制度	在学中	在学4年間。	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		・東北福祉大学の正規課程に在学する学生で、経済的理由により学業の継続が特に困難な者 ・「行学一如」の建学の精神を体し、その模範となる優秀な者	免除・減免	減免額は、学長が指名する者を以て構成する委員会を経て学長が承認する。	学部においては4年、大学院においては修士課程2年、博士課程3年を超えない期間。	定員制限なし。	地域の制限なし	学生支援センター　学生支援課	併用可	条件有りで併用可
宮城学院女子大学	宮城学院奨学会奨学金	入学後		学費支援		受給対象学年は問わず、国による高等教育の修学支援新制度に申請する資格のない学生 ①人物・学業ともに優良な学生であって、経済的理由により修学が困難な者 ②世帯収入条件は、給付収入の場合年間300万円以下、自営業等の場合年間所得26万円以下	給付奨学金	前期採用者：年額上限60万円 後期採用者：上限30万円	前期採用者：1年間 後期採用者：半期	年間10名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	宮城学院女子大学奨学金	入学後		学費支援		受給対象学年は問わない ①人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な学生 ②他の本学独自の給付奨学金・授業料減免を受けていない者 ※国による修学支援新制度（日本学生支援機構：授業料等減免と給付型奨学金）の申請資格を有しているが、支援を受けていない学生が対象。ただし、支援区分が対象外で停止中の学生は除く ※外国人留学生は対象となりません ③世帯収入条件は、給付収入の場合年間841万円以下、自営業等の場合年間所得355万円以下	給付奨学金	年額20万円あるいは30万円	1年間に1回限り	年間25名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで併用可
	宮城学院授業料減免制度	入学後		学費支援		対象学年は問わない ※国による修学支援新制度（日本学生支援機構：授業料等減免と給付型奨学金）の申請資格のない学生 ※外国人留学生は対象となりません ①生活保護世帯、住民税非課税世帯を対象	免除・減免	年間授業料の全額または半額	1年間	①人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	宮城学院同窓会奨学金	入学後		学費支援		対象学年は問わない ※国による修学支援新制度（日本学生支援機構：授業料等減免と給付型奨学金）を受けていない学生 ※外国人留学生は対象となりません ①人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難で、さらに生活困窮度が著しい者。	給付奨学金	年額20万円	1年間に1回限り	年間5名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで併用可
	宮城学院学業特待奨学金（ブールボー奨学金）	入学手続時		特待生・成績優秀者		1年生 ①大学入学共通テスト利用選抜（A日程）受験者のうち、指定科目の合格点率が75%以上かつ各学科の成績上位者であり、入学手続きを完了した者 ②総合型選抜・学校推薦型選抜合格者（入学手続き完了者）のうち、大学入学共通テストを受験し、入学予定の学科が指定する大学入学共通テスト利用選抜（A日程）の合格点率が75%以上の者かつ各学科・専攻の成績上位3位以内の者	給付奨学金	年額40万円	最大4年間	年間10名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
仙台白百合女子大学	①仙台白百合女子大学奨学金　②留学奨学金　③学業成績優秀者奨励金 ④スカラーシップ　⑤リエゾン・ファミリア制度	その他	①入学後　②入学後　③申請なし　④申請期間内　⑤合格後の手続き	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度 入学金・授業料減免		全学科対象 ①学業成績、学習態度ともに優れている者で、経済的理由のため学業の継続が困難と認められる学生 ②本学が協定を結んだ海外の大学等へ留学する際、留学先納付金が別途必要な学生 ③学業成績において、特に優れた学生 ④学科指定の入学試験及び在学中の学業成績において、特に優れた学生 ⑤仙台白百合短期大学・仙台白百合女子大学の卒業生及び在学生の二親等以内の親族で、仙台白百合女子大学への向学心あふれる入学予定者	給付奨学金 免除・減免	①年額20万円 ②学費相当額を限度		①年間10~20名程度 ②人数制限なし	地域の制限なし		併用可	併用不可
東北文化学園大学	東北文化学園大学新型コロナウィルス感染症に伴う授業料減免	その他	当該年度9月下旬（2021年実績）	入学金・授業料減免		日本私立学校振興・共済事業団が毎年度行う「私立大学等経常費補助金における授業料減免事業等支援（新型コロナウイルス感染症緊急経済対策分）」において定める要件とする。ただし、文部科学省が定める「高等教育の修学支援新制度」について、当該年度に減免等の支援を受けている者は申請することができない。	免除・減免	後期授業料のみ減免	当該年度の後期のみ（2021年度実績）	人数制限なし	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可
	東北文化学園大学スポーツ特待生	入学後		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学年：1年 条件：1.スポーツ活動に顕著な成績をあげ、リーダーシップ、統率力を兼ね備え、本学の建学の精神が目指す人材となることが期待される者 2.スポーツ活動の技能に関して、出身学校の学校長、監督・顧問等の指導者、または本学の監督・顧問等の指導者から特別に推薦された者 3.入学後に学業とスポーツ活動の両立に積極的な意思を有し、4年間対象部に所属することができる者	免除・減免	スポーツ特待生A：学費（授業料・施設設備費・実験実習費・教育充実費）年額の全額免除 スポーツ特待生B：授業料年額の全額免除 スポーツ特待生C：授業料年額の半額免除	最短修業年数	若干名	地域の制限なし	入試課（入学時）、学生課（入学後）	併用可	併用可
	兄弟姉妹等優遇制度	学校出願時		入学金・授業料減免		条件：東北文化学園大学に入学する者の兄弟姉妹及び父母が、東北文化学園大学または東北文化学園専門学校（旧設置校含む）の卒業生もしくは在学している場合に入学金を免除。（当該年度で兄弟姉妹及び父母が在学生の場合は入学金全額免除、卒業生の場合は半額免除。兄弟姉妹及び父母が同時に入学する場合も免除対象）	免除・減免	①兄弟姉妹等が在学生の場合：入学金全額免除 ②兄弟姉妹等が卒業生の場合：入学金半額免除	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	姉妹校優遇制度	学校出願時		入学金・授業料減免		条件：学校法人東北文化学園大学が設置する学校（旧設置校含む）の卒業生等が、東北文化学園大学に入学する場合に入学金を全額免除。	免除・減免	入学金全額免除	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	東北文化学園大学授業料減免に関する規程	入学後		入学金・授業料減免		①本学に在籍し学業優秀と認められる者 ②特別な事情により経済的に修学が困難であり、日本学生支援機構の貸与奨学金を受給している者 上記の条件を満たす者	免除・減免	授業料減免	当該年度限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可

大学名	（1）制度名	（2）申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては「（4）対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	（3）支援の種類	「その他」の具体的内容	（4）対象学年・学部・資格・条件	（5）種類	（6）金額	（7）支給期間	（8）人数	（9）地域条件	（10）担当部署	（11）JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	（12）他奨学金制度との併用可否
尚絅学院大学	大学減免制度	入学後		入学金・授業料減免		【大学院生】 （1）家計基準 日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準にあてはまる者。 （2）学力基準 1年生においては、入学試験の成績が上位の者、2年生においては、1年次の履修科目全ての成績がS又はAの者	免除・減免	【大学院】 授業料の1/2	前期、後期の定められた期間	該当者	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可
	海外研修奨学金	入学後		研修支援制度		大学および大学院が行う海外研修プログラムに経済的理由により参加困難な学生	貸与奨学金	1日5万円（4日まで申込可能）	随時	若干名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可
	尚絅学院大学私費外国人留学生納付金減免制度	入学後		入学金・授業料減免		1．入学志願者においては本学及び本大学院の入学奨学金選抜試験に合格した者とする。 2．第1項により本学に入学し2年次以上で納付金減免を申請出来る者は、卒業要件単位のうち、1年次終了時に32単位、2年次終了時に64単位、3年次終了時に96単位修得している者とする。 3．第1項により本大学院に入学し、2年次以上で納付金減免を申請できる者は、1年次に履修登録した単位の50%以上が合格している者とする。 4．常現からの1ヶ月あたりの仕送り額(入学金、授業料等は含まず)が60,000円を超える者は対象としない。 5．本学に在籍する私費外国人留学生で規程に定める成績基準を満たす者。	免除・減免	減免額は規程による。成績等の条件あり。	1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可
	特待生制度（入学時）	入学手続時		特待生・成績優秀者		特待生S：大学入学共通テスト利用入学試験（前期）において、得点率が75%以上の者、またはこれに準ずる者。 特待生A：次のいずれかに該当する者 （1）大学入学共通テスト利用入学試験（前期）において、得点率が70%以上の者 （2）一般入学試験（A日程）において、各学類合格者の成績上位65%以内の順位で、かつ得点率が80%以上の者	免除・減免	（1）授業料全額 （2）教育充実費全額 （3）施設設備費全全額 ※特待生S：継続した場合に同額免除 特待生A：継続した場合に半額免除	1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可
	特待生制度（在学中）	入学後		特待生・成績優秀者		（1）前年度までの修得単位数が2年次にあっては31単位以上、3年次にあっては62単位以上、4年次あっては93単位以上である。2年次以上の者。 （2）各学年末において、年度GPA（Grade Point Average）が3.30以上で所属学類において成績が最上位であること。但し、人文社会学類においては、上位 3位以内とする。 （3）建学の精神を理解し、他の学生の規範となっている者とする。 ※入学時特待生はのぞく。	免除・減免	授業料の1/3を超えない額	1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可
	尚学会学資援助金	在学中	最終学年	学費支援 用途を定めない経済的支援		在籍する学生で、次の各号の要件すべてに該当する者 （1）保護者が不慮の事情により学費の支弁が困難な者、または修学に関しての生活費維持が困難な者（留学生除く） （2）当該年度に卒業見込みの者 （3）本学院が行う授業料減免措置を受けていない者 （4）原則として各種奨学金を受けている者	免除・減免	25万円	随時	6名以内	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可
	クリスチャン奨学生	入学手続時		入学金・授業料減免		入学時に経済的支援が必要なクリスチャン家庭の者（外国人留学生は対象外） 以下の各号の要件全てに該当する者 （1）世帯総所得500万円以下（給与所得者以外は所得金額210万円以下） （2）教会牧師と役員会の推薦 （3）本学のキリスト教主義の教育方針に従い、礼拝やキリスト教諸行事に参加する意志のある者	免除・減免	入学金全額	入学時	制限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可
	尚絅学院大学貸与奨学金	入学後		学費支援		経済的理由により修学が困難と認められた2年生以上の学生 （留学生を除く） 次の各号の要件全てに該当する者。 （1）家計支持者の失職・死亡、それに類する生計者の経済的急変等の事由により、就学が困難で緊急時対応が必要な者。 （2）申請前年分の世帯の総収入が500万円（給与所得者以外は所得金額210万円）以下の世帯	貸与奨学金	授業料と施設設備費の1/3を超えない額	単年	若干名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可
日本赤十字秋田看護大学	特待生制度A	入学後		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		看護学部看護学科（1年次） 一般入学試験・指定校推薦入試の成績が上位の者1名を対象に選考	免除・減免	年間授業料の全額を免除 ①年額85万円	入学後1年間	2名	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可
	特待生制度B	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		2年～4年生の看護学部学生対象 前年度の修得単位数が標準数を超え、かつ学業成績が上位の者4名を対象に選考	免除・減免	年間授業料の半額 ③年額42万5千円	対象となった学業成績等の属する年度の翌年度1年間	年間4名	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可
東北公益文科大学	学費全額免除奨学生制度	その他	事前の申し込みや出願時のエントリーなどは不要	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		○一般選抜（A日程）及び大学入学共通テスト利用選抜（A日程）に同時出願した者 ○一般選抜（B日程）及び大学入学共通テスト利用選抜（B日程）に同時出願した者	免除・減免	入学金27万円（初年度のみ）、授業料65万円（年額）、施設整備費20万円（年額）を全額免除	原則として4年間 ※年度ごとに学業成績をもとにした継続のための審査あり	○一般選抜（A日程）＋大学入学共通テスト利用選抜（A日程）・公益学部公益学科 4名以内 ○一般選抜（B日程）＋大学入学共通テスト利用選抜（B日程）・公益学部公益学科 2名以内	地域の制限なし	入試事務室	併用可	併用可
	特待生制度	その他	対象入試区分の受験者全員	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象入試区分の受験者全員 ギャップイヤー選抜　若干名 指定校制推薦選抜　3名以内 一般選抜（A日程）10名以内 一般選抜（B日程）5名以内 大学入学共通テスト利用選抜（A日程）5名以内 大学入学共通テスト利用選抜（B日程）3名以内	免除・減免	年間授業料32.5万円および年間施設整備費10万円を減免	原則として4年間。 ※年度ごとに学業成績をもとにした継続のための審査あり	ギャップイヤー選抜　若干名 指定校制推薦選抜　3名以内 一般選抜（A日程）10名以内 一般選抜（B日程）5名以内 大学入学共通テスト利用選抜（A日程）5名以内 大学入学共通テスト利用選抜（B日程）3名以内	地域の制限なし	入試事務室	併用可	併用可
	減免型奨学生制度	学校出願時		その他	施設整備費全額（20万円）減免	上記の入学試験の受験者のうち、経済的支援を必要とする者（日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準を満たす者）で、出願時に減免型奨学生制度にエントリーした者	免除・減免	年間施設整備費20万円全額免除	原則として4年間。 ※年度ごとに学業成績をもとにした継続のための審査あり	総合型選抜　若干名 学校推薦型選抜（全日程）各若干名 大学入学共通テスト利用選抜（A日程）5名以内 大学入学共通テスト利用選抜（B日程）若干名	地域の制限なし	入試事務室	併用可	併用可
	入学金免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免		・指定校制推薦選抜及び社会人選抜は合格者全員が対象 ・編入学選抜（全日程）は本学が指定する短期大学または高等専門学校からの合格者が対象	免除・減免	入学金27万円を全額免除	入学初年度	人数制限なし	地域の制限なし	入試事務室	併用可	併用可
	海外短期語学留学奨学助成制度	在学中		留学費用支援制度		語学や資質の向上を目的とした留学を行う学生に対し、語学の成績に応じて大学が費用の一部を助成	その他	渡航費用の2分の1以内助成、資格試験の成績に応じて3分の2以内を助成	随時	人数制限なし	地域の制限なし	入試事務室	併用可	併用可
	兄弟・姉妹授業料等減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免		世帯・家計を一とする兄弟・姉妹が同一期間に本学在学生となる場合に、申請により、後に入学した者の年間授業料の半額（32.5万円）を減額	免除・減免	年間授業料32.5万円および年間施設整備費10万円を減免	1年間 ※兄弟・姉妹のどちらかが卒業（または退学）するまで毎年申請する必要あり	人数制限なし	地域の制限なし	入試事務室	併用可	併用可
	優秀学生奨学金制度	在学中	1年生～3年生	その他	学業成績が優秀で奨学生としてふさわしい学生に対して、年度ごとに奨学金を給付し、学生のさらなる修学意欲の向上をはかる制度	1年生～3年生（各学年から1名） ※事前に申請が必要	給付奨学金	年額10万円	年1回	1～3学年　各1名	地域の制限なし	入試事務室	併用可	併用可
東北文教大学	入学前学業成績優秀者奨学生	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		本学への入学を確約する者で、入学者選抜における、一般選抜【前期】の合格者のうち成績上位5番目までの者を採用。	免除・減免	（1～2年次） 学納金の半額（子ども教育学科：508,500円、入間関係学科：491,000円）を免除。	1～2年次	各学科5名	地域の制限なし	総務課	併用可	併用不可
	入学前スポーツ・文化・資格検定優秀者奨学生	学校出願時		入学金・授業料減免		総合型選抜［A日程］、学校推薦型選抜の合格者のうち、調査書における全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、次のいずれかに該当する者を採用。 ①運動部または文化部関係で全国大会に出場した者。地方大会に出場し4位以内に入賞した者 ②選抜日以前の2年以内に実用英語技能検定2級相当以上（TOEIC520点以上（TOEIC IPテスト含む）、TOEFL（iBT）52点以上）の資格を取得した者	免除・減免	入学金28万円	1年次	各学科5名	地域の制限なし	総務課	併用可	併用不可
	学業成績優秀者奨学生	入学後		特待生・成績優秀者		入物並びに学業成績が優秀であり、他の範たると認められるもの。 1～4年次：書類審査、面接	給付奨学金	30万円	1年間	各学科3名程度	地域の制限なし	総務課	併用可	併用不可
	スポーツ・文化優秀者奨学生	入学後		特待生・成績優秀者		入物並びにスポーツ・文化活動に優秀であり、スポーツ・文化の振興に寄与できると認められる者。 1年次：書類審査、面接 2～4年次：前年度の成績、実績書類審査、面接	給付奨学金	Aランク：30万円 Bランク：20万円	1年間	若干名	地域の制限なし	総務課	併用可	併用不可
	家計急変・災害奨学生	その他	家計状況が急変し就学が困難になったとき	その他	家計状況が急変して就学が困難になった者への経済的支援	1年～4年次	貸与奨学金 免除・減免	種別により異なる（免除・貸与）	1年間		地域の制限なし	総務課	併用可	併用可
医療創生大学	特待生制度（スカラシップ入試）	学校出願時		特待生・成績優秀者		「大学入学共通テスト利用入試（1期）」、及び「一般入試（期）」の成績上位者に対して、4年間（薬学部は6年間）の学費（授業料+施設拡充費）を半額免除する制度です。	免除・減免	4年間（薬学部は6年間）の学費（授業料+施設拡充費）を半額免除。 薬学部：6年間にかかる学費のうち、540万円免除 看護学部：4年間にかかる学費のうち、300万円免除 健康医療科学部：4年間にかかる学費のうち、330万円免除 心理学部：4年間にかかる学費のうち、190万円免除	薬学部　最大6年間 看護学部　最大4年間 健康医療科学部　最大4年間 心理学部　最大4年間 ※2年次以降、継続して特待生対象となるには条件があります。	2024（令和6）年度 大学入学共通テスト利用入試（1期）受験者のうち、 薬学部薬学科　成績上位10名 看護学部看護学科　成績上位5名 健康医療科学部作業療法学科　成績上位5名 健康医療科学部理学療法学科　成績上位5名 心理学部臨床心理学科　成績上位10名 2024（令和6）年度 一般入試（1期）受験者のうち、 薬学部薬学科　成績上位 10名 看護学部看護学科　成績上位5名 健康医療科学部作業療法学科　成績上位5名 健康医療科学部理学療法学科　成績上位5名 心理学部臨床心理学科　成績上位10名 ※成績上位者が入学手続きを行わなかった場合の繰り上げはありません。	地域の制限なし	企画課	併用可	併用可
	学校推薦型選抜入試（特待指定校推薦方式）	学校出願時		特待生・成績優秀者		「学校推薦型選抜入試（特待指定校推薦方式）」の合格者に対して、1年次前期分の学費（授業料+施設拡充費）を免除する制度です。	免除・減免	1年次前期分の学費（授業料+施設拡充費）を免除する制度。 薬学部：1年次にかかる学費のうち、90万円免除 看護学部：1年次にかかる学費のうち、75万円免除 健康医療科学部：1年次にかかる学費のうち、82.5万円免除 心理学部：1年次にかかる学費のうち、47.5万円免除	入学手続きの際、免除された金額を差し引いた学費を納付していただきます。	2024（令和6）年度 学校推薦型選抜入試（特待指定校推薦方式）合格者のうち、 薬学部薬学科　15名 看護学部看護学科　20名 健康医療科学部作業療法学科　10名 健康医療科学部理学療法学科　10名 心理学部臨床心理学科　15名	地域の制限なし	企画課	併用可	併用可
奥羽大学	特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		自力進学支援型　特待生制度 1．目的 人物、成績、健康共に優秀で他の学生の模範と認められる者を選抜する。 2．特待生の種類及び募集人員 ○歯学部　授業料全額免除　30名 ○薬学部　授業料全額免除　30名 ※特待生選抜入学試験において、授業料全額免除の基準に該当する特待生の人数が募集人員の30名に満たない場合は、その基準に準ずる成績の者を授業料半額免除の特待生として合格とする。 3．特待生選抜入学試験選抜基準(歯学部共通) ○授業料全額免除　入学試験の取得点数が80点以上 ○授業料半額免除　入学試験の取得点数が75点以上 4．特待生継続基準(最大6年間継続(薬学部共通) ○授業料全額免除　進級試験の成績が80点以上 ○授業料半額免除　進級試験の成績が75点以上	免除・減免	（授業料全額） ○歯学部　3,500,000円／1年間　21,500,000万円／6年間 ○薬学部　1,500,000円／1年間　9,200,000円／6年間	年度末に全学生が受ける進級試験の成績が80点以上の者は継続する。	各学部とも30名	地域の制限なし	学事部	併用可	併用可
郡山女子大学	学校法人郡山開成学園創立者関口育英奨学金制度	その他	学校推薦型選抜の合格者は合格決定後から申込み可能。一般選抜Ⅰ期・大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期の受験者は出願時に申し込む。	学費支援		大学・短大の全学年。 本学の建学の精神を理解し、特色に秀で、他の模範となる人物を育成することを目的に制度を発足。修業年数の期間、給付され、年度ごとに申請が必要。	給付奨学金	年額12万円 （月額1万円）	修業年数	年間20名	地域の制限なし	学生生活部	併用可	併用不可
	学校法人郡山開成学園郡山女子大学同窓会奨学金制度	入学後		学費支援		全学年が対象。1年次に入学した方で、三親等以内に本学（大学・短大・附属高校）の卒業生がいる方で、成績優秀な方。	給付奨学金	年額10万円	1年間（年度ごとに申請）	2名（各学年）	地域の制限なし	学生生活部	併用可	併用不可
	成績優良者奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜のⅠ期から Ⅱ期までの受験者の成績上位者。 出願すると自動的にエントリーされる。	免除・減免	成績上位の順 ①S=授業料全額免除 ②A=授業料半額免除 ③B=授業料4年間合計で100万円免除	免除期間は4年間。各学年進級時に継続審査を行う。	①生活科学科=4名以内 ②食物栄養学科=8名以内	地域の制限なし	教務部	併用可	併用不可
	[学校推薦型選抜]特別特待生・特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		●特別特待生 ・評定平均値4.3以上の方 ・各学科・専攻2～4名程度 ・入学金および授業料の全額を免除 ●特待生 ・評定平均値4.0以上の方 ・各学科・専攻2～4名程度 ・入学金および授業料の半額を免除 授業料免除の期間は、所定の修業年限とする。	免除・減免	●特別特待生：入学金および授業料の全額を免除 ●特待生：入学金および授業料の半額を免除	授業料免除の期間は、所定の修業年限とする。	●特別特待生：各学科・専攻2～4名程度 ●特待生：各学科・専攻2～4名程度	地域の制限なし	入学事務・広報部	併用可	併用不可